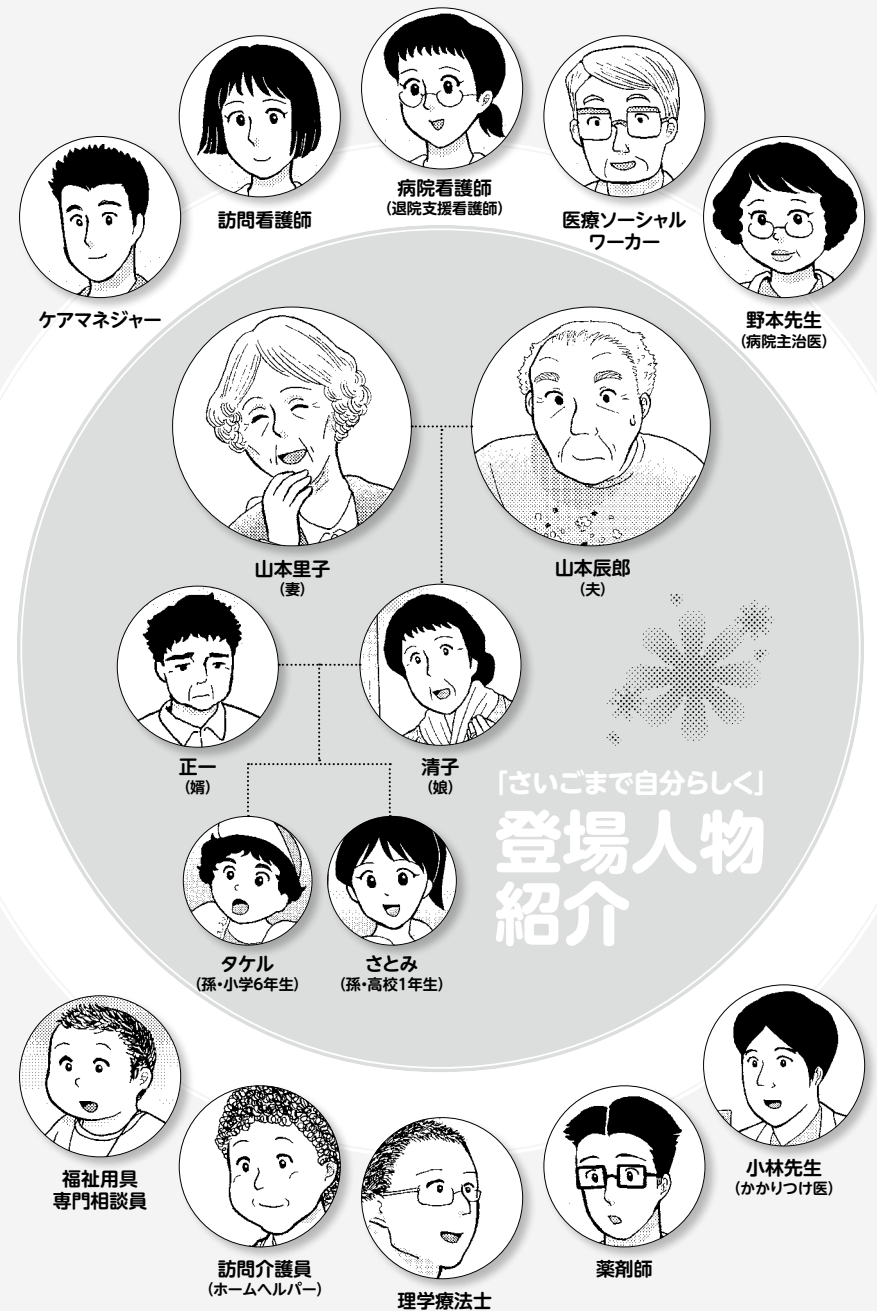
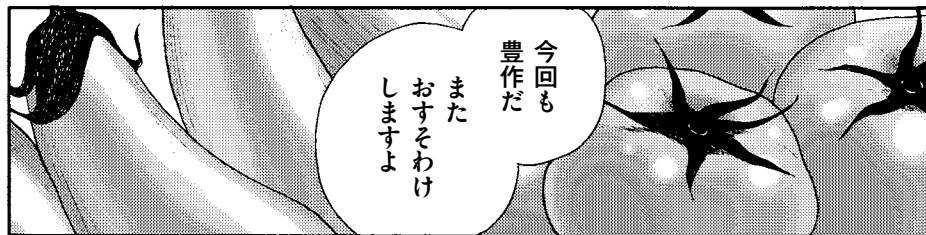
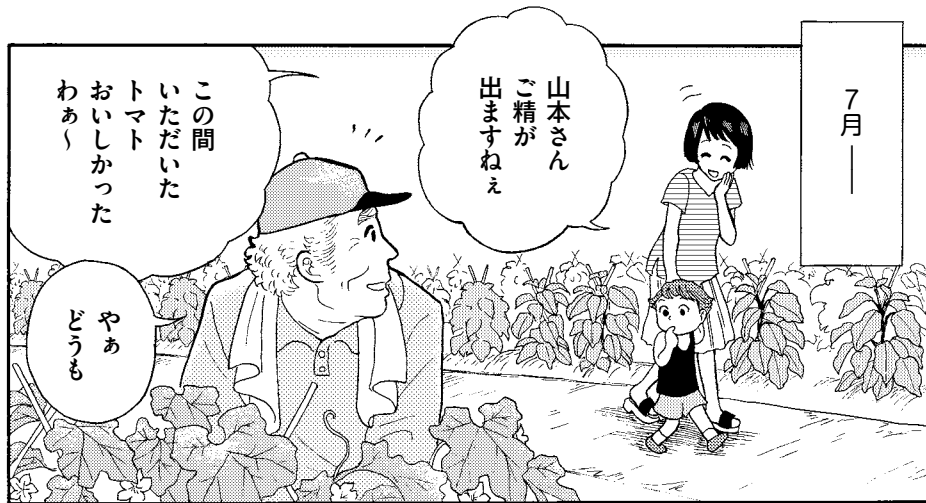
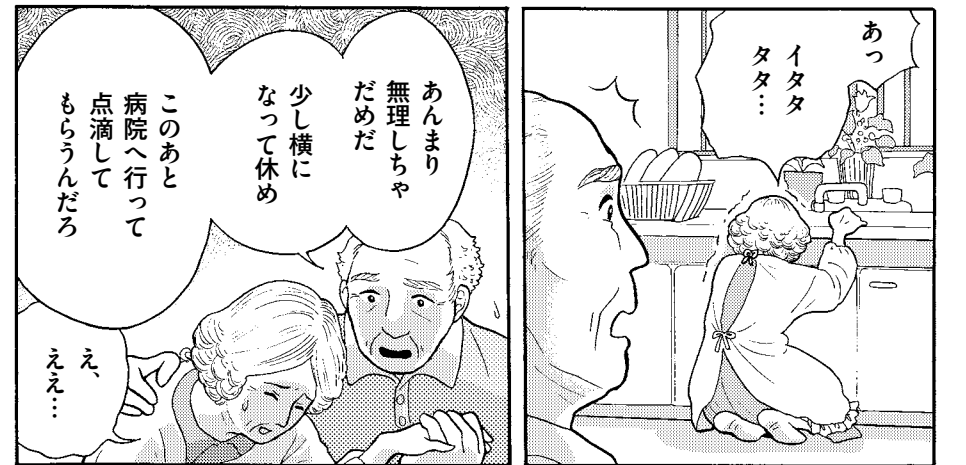
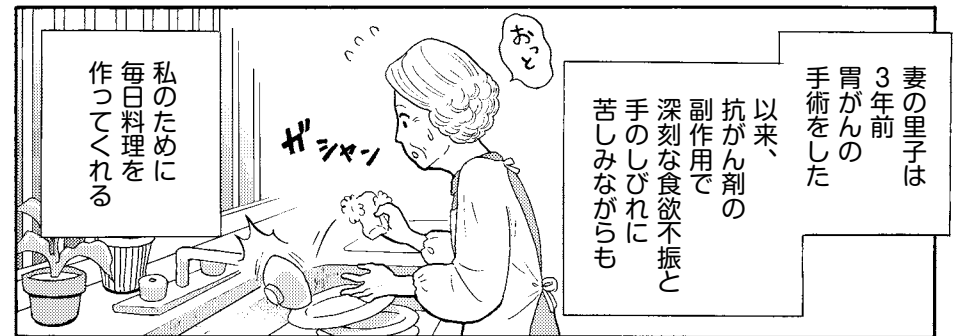
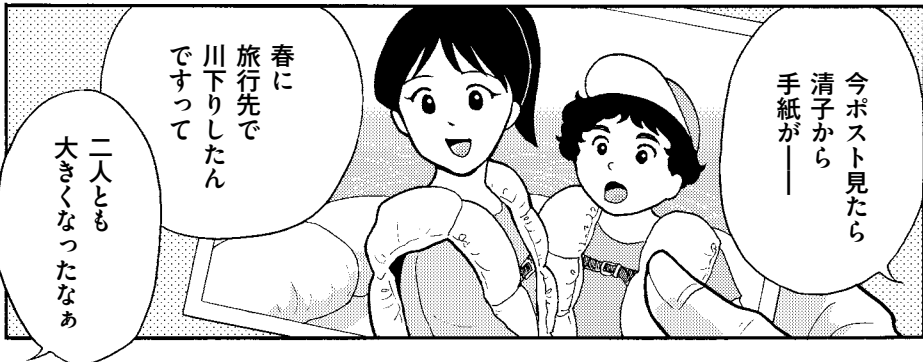
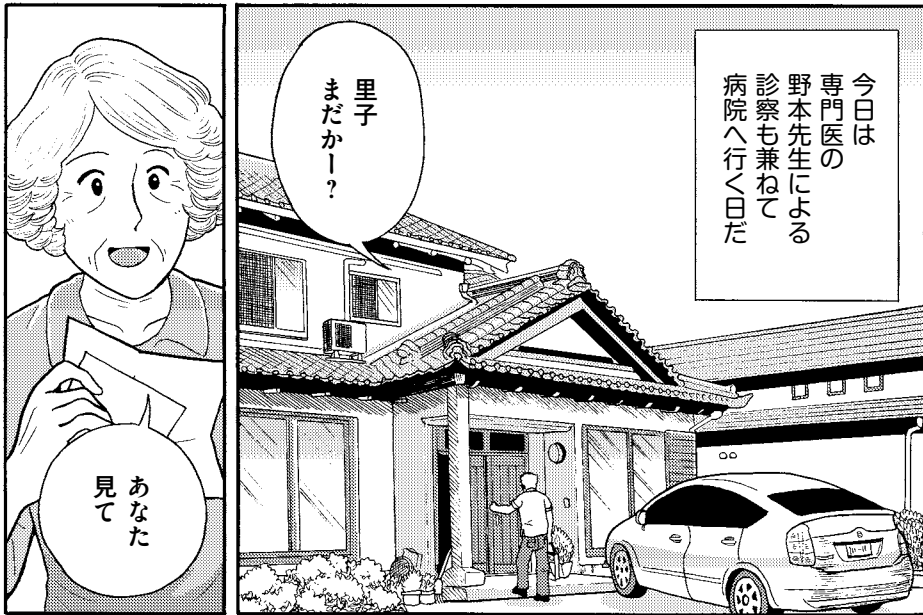
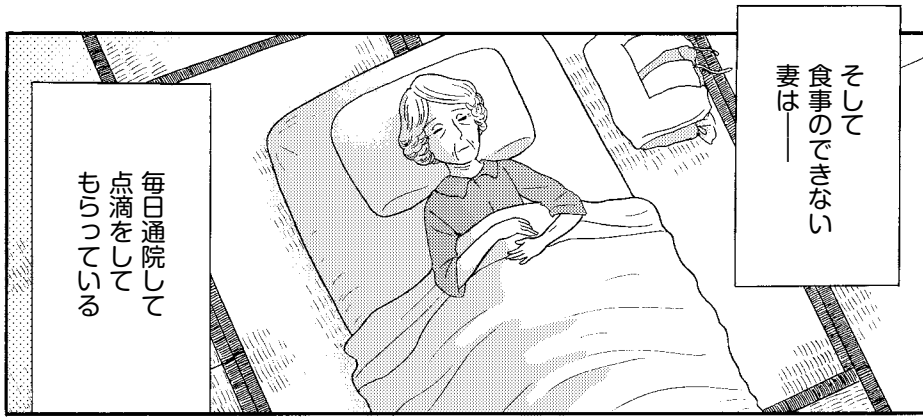


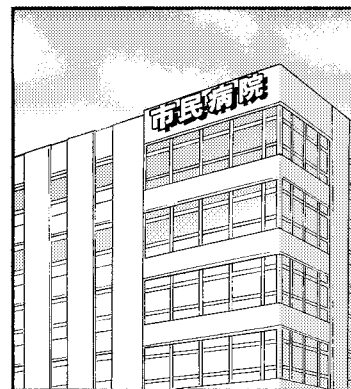
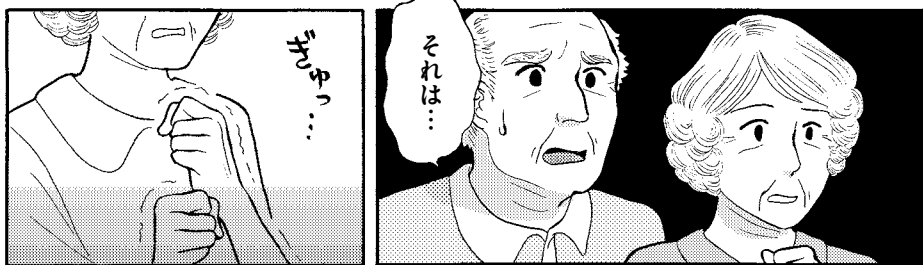
さいごまで自分らしく

SAIGO MADE
JIBUN
RASHIKU

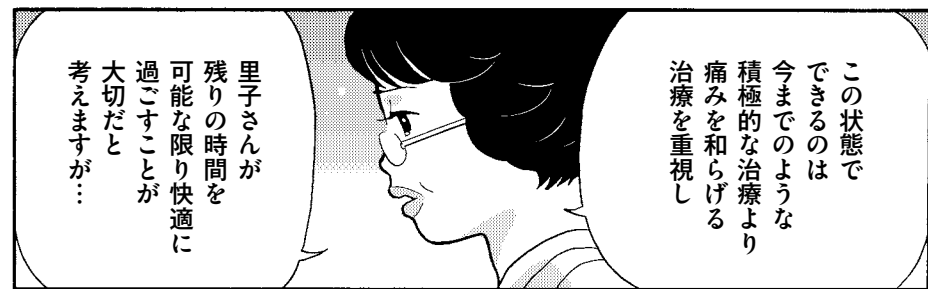
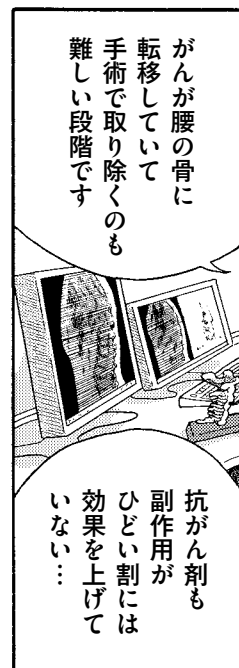


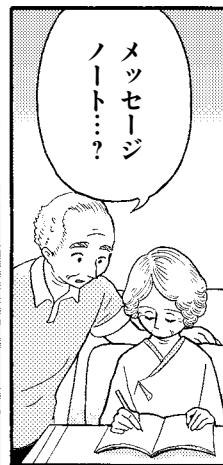
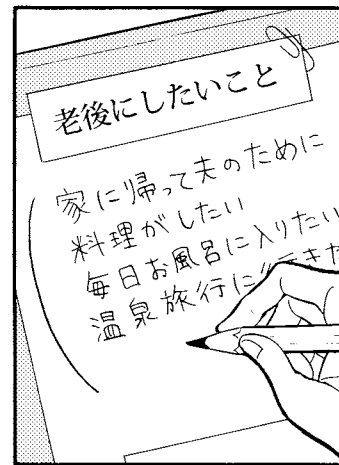
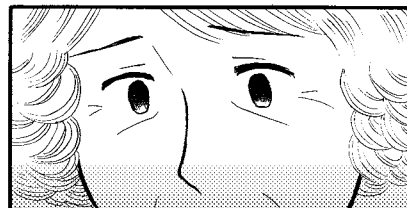
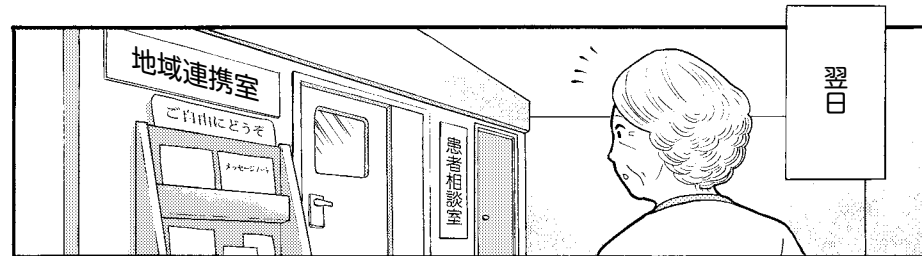
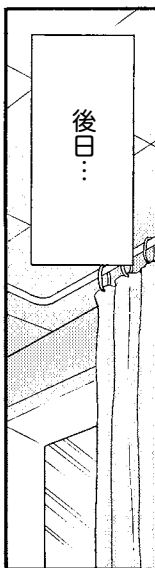
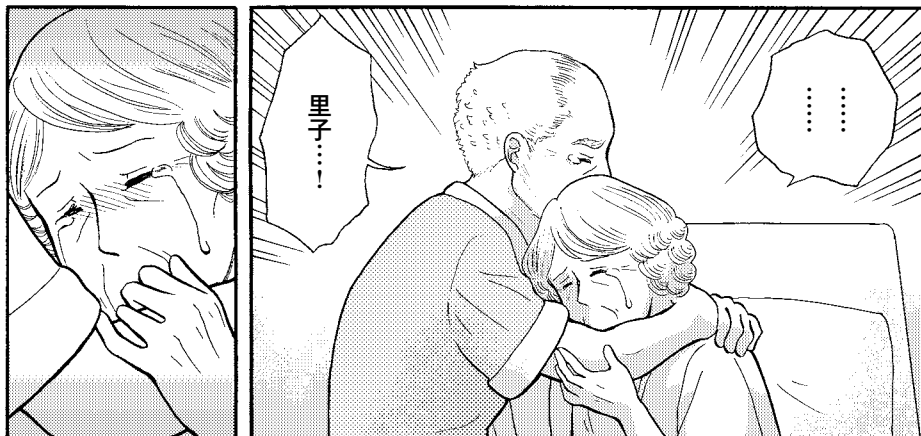






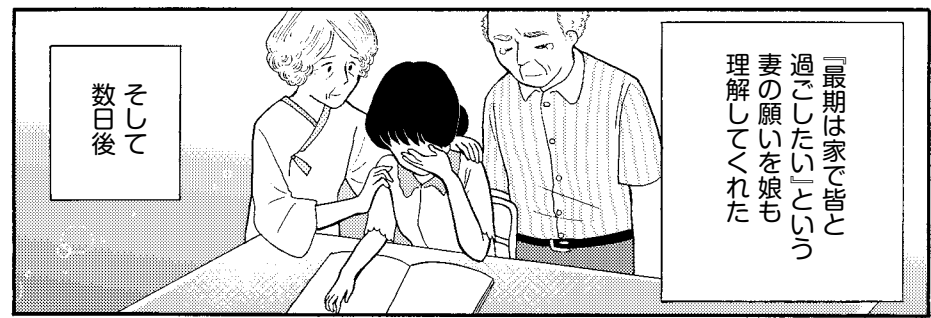
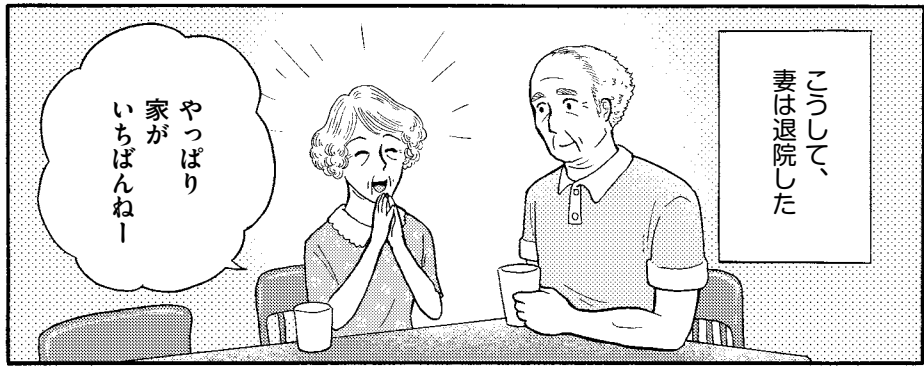
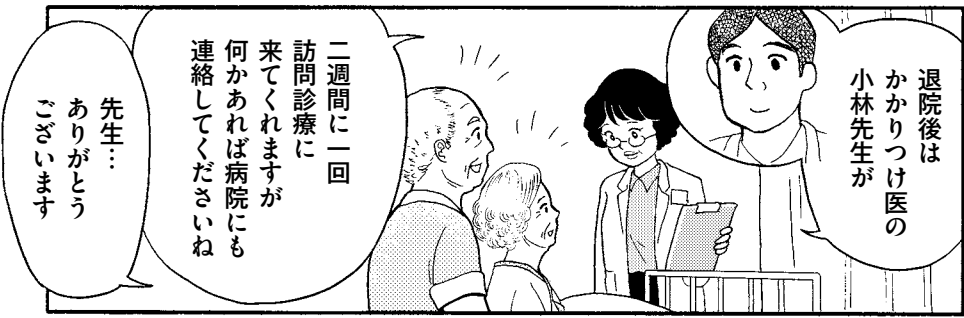
一人娘の清子は結婚して子どもができ二人の孫たちの成長を見守るのも私たちの生きがいだ







野本先生から連絡を受けた
医療ソーシャルワーカーが
関係者を招集し退院に向けた
話し合いが行われた



介護保険制度を利用して自宅に電動式ベッドを入れてもらった



二週間に一度かかりつけ医の小林先生が訪問診療に来てくれ

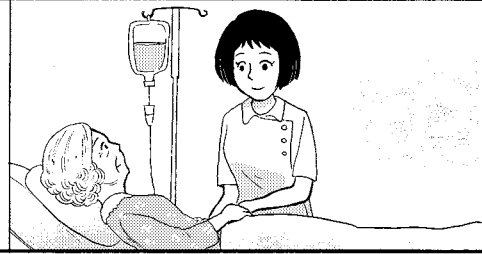


お薬はどうですか？

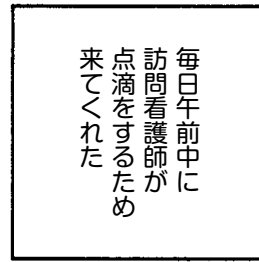
小林先生の指示に従って一週間に一度薬剤師が来て薬の管理をしてくれる



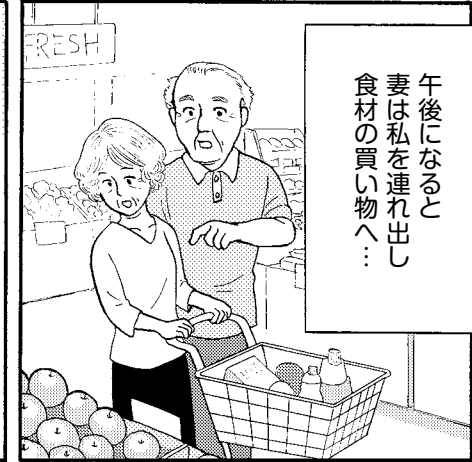
そして食事のとれない妻のために



毎日午前中に訪問看護師が点滴をするため来てくれた



午後になると妻は私を連れ出し食材の買い物へ…



夜は私と一緒に料理をした

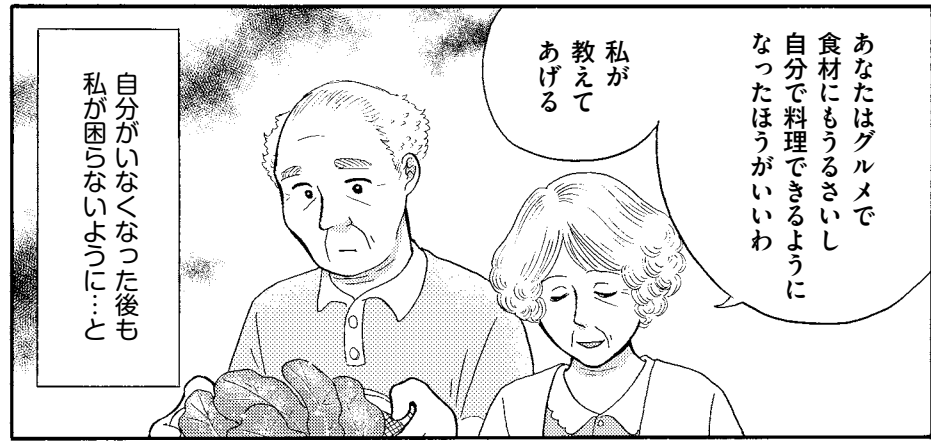


あなたはグルメで食材にもうるさいし自分で料理できるようになったほうがいいわ

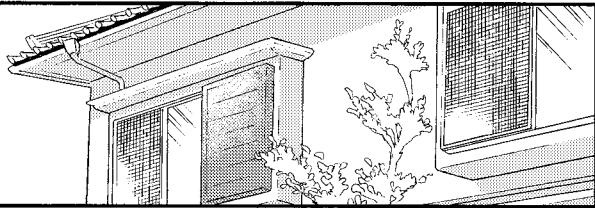
私が教えてあげる



自分がいなくなった後も私が困らないように…と



それ私たちの日課になった



お盆には娘一家とともに楽しい夏休みを過ごし…



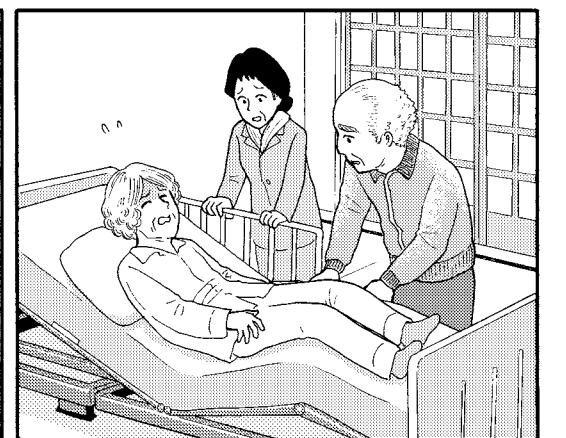
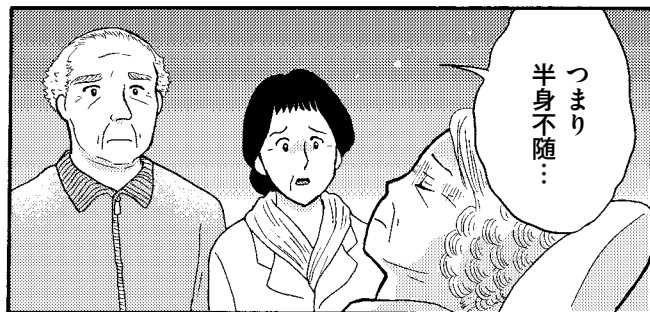
行けるうちにと妻の大好きな温泉旅行にも夫婦で出かけた

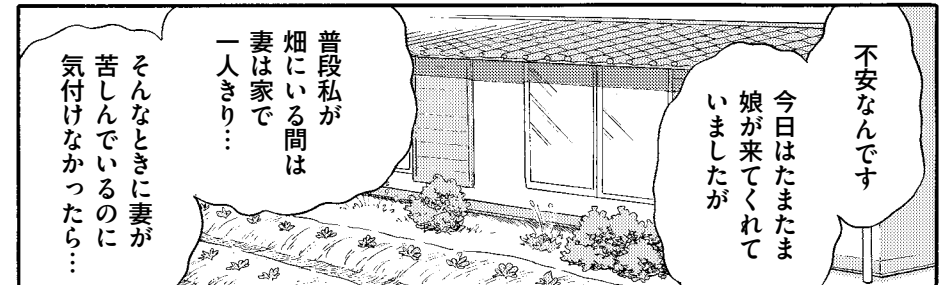
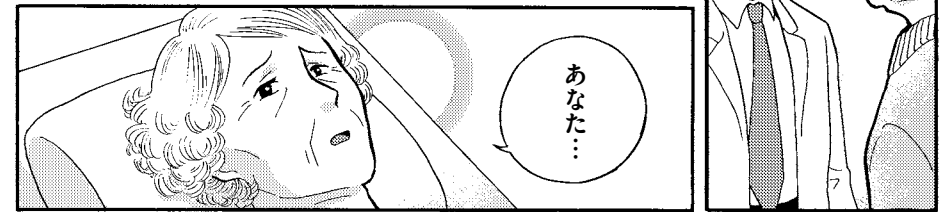
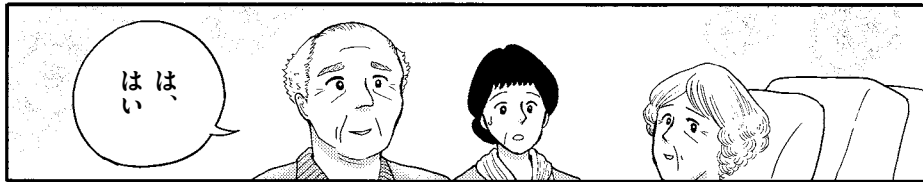


しかし半年後のある日…



お母さん久しぶり具合は…？





小林先生の
訪問時間に合わせて
自宅にて

かかりつけ医
小林先生



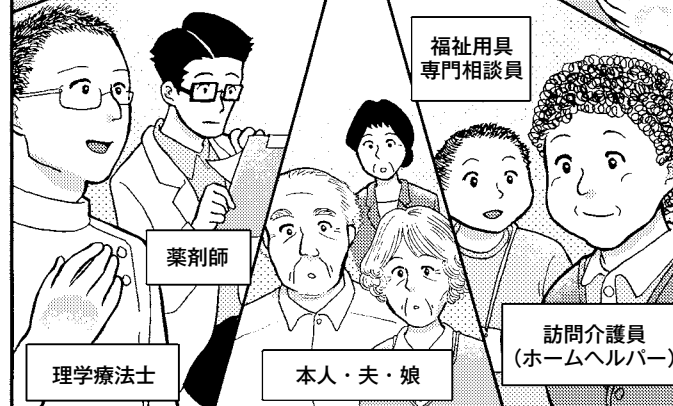
訪問看護師

様々な
職種の人たちの間で
妻の今後の治療について
話し合いが行われた



ケアマネジャー

福祉用具
専門相談員



薬剤師

理学療法士

本人・夫・娘

訪問介護員
(ホームヘルパー)



今後の妻の
ケアスケジュールも
提案してもらった



里子の1週間のケアスケジュール

- 訪問看護…毎日 午前1回
- 訪問介護…毎日
午前1回/午後1回
- 訪問診療…週1回
- 訪問薬剤…週1回
- 訪問リハビリ…週1回

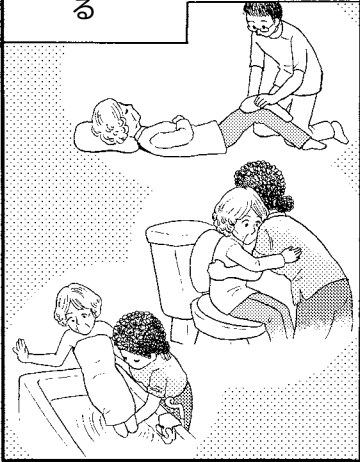
今までの
ケアに加え
訪問診療も
週一回になり

点滴や足腰の
痛みの緩和が
主なケアに
なっています



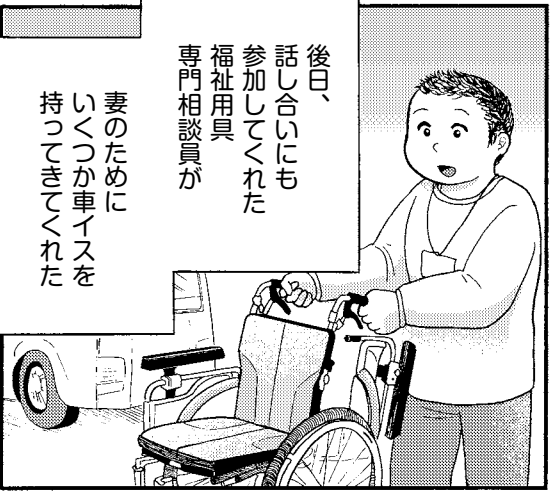
週一回の訪問リハビリで
足腰の痛みを和らげる
ストレッチやマッサージを
してもらう

ホームヘルパーが
毎日来てくれ、入浴補助、
トイレ介助してもらえ
ることになった



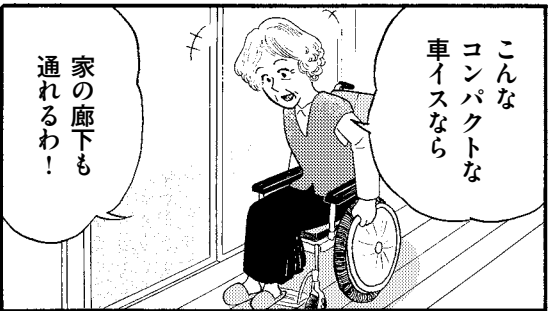
後日、
話し合いにも
参加してくれた
福祉用具
専門相談員が

妻のために
いくつか車イスを
持ってきてくれた



こんな
コンパクトな
車イスなら

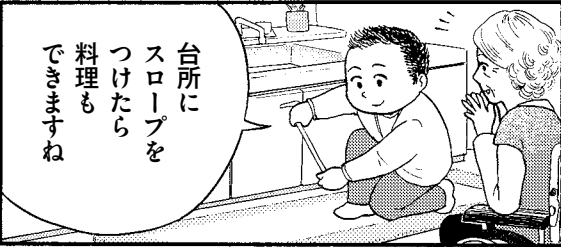
家の廊下も
通れるわ!



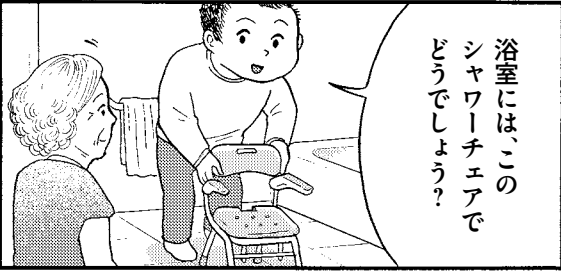
小林先生は
病院の
野本先生にも
連絡をとって
くれていた



台所に
スロープを
つけたら
料理も
できますね



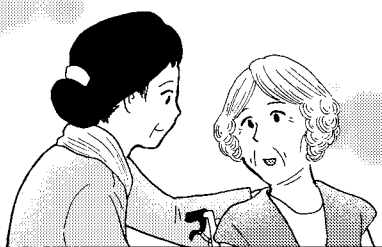
浴室には、この
シャワーチェアで
どうでしょう?



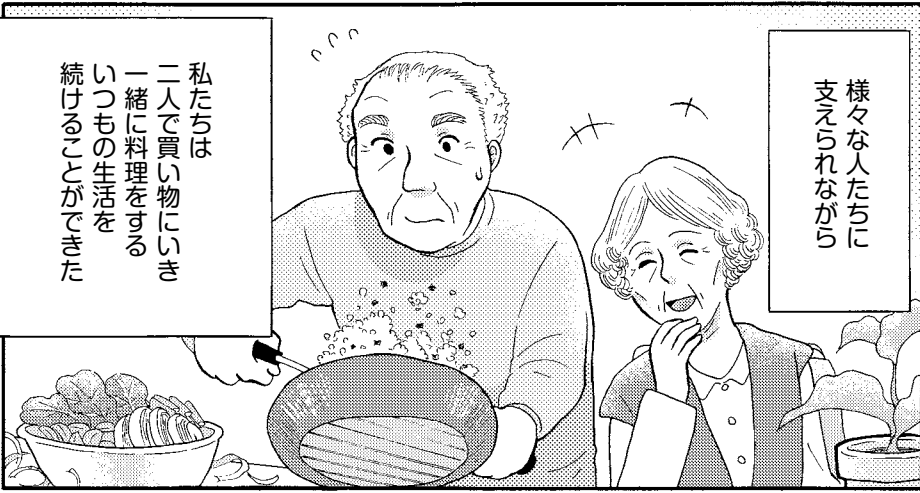
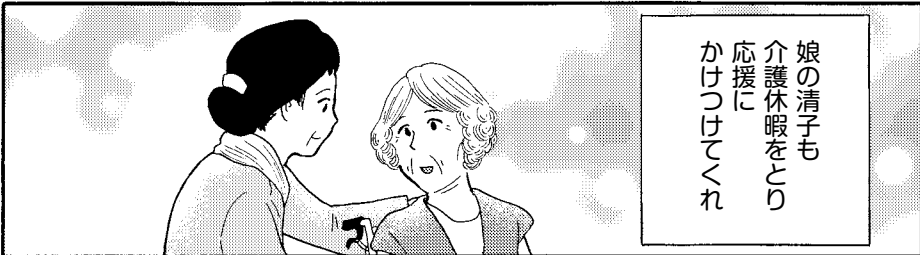
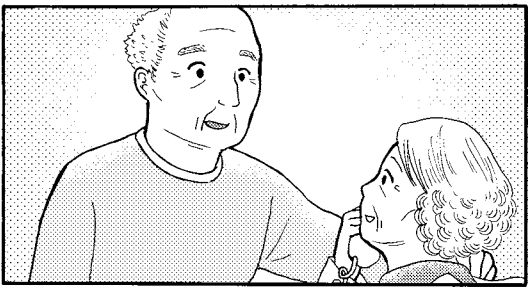
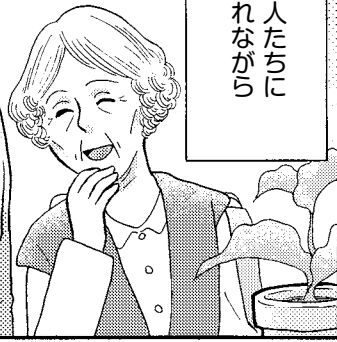
いざという時は
病院で里子さんを
引き受けます



娘の清子も
介護休暇をとり
応援に
かけつけてくれ



様々な人たちに
支えられながら



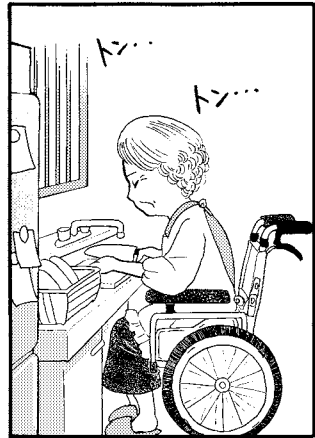
ああ
それなら

安心して
うちで見て
やれるな

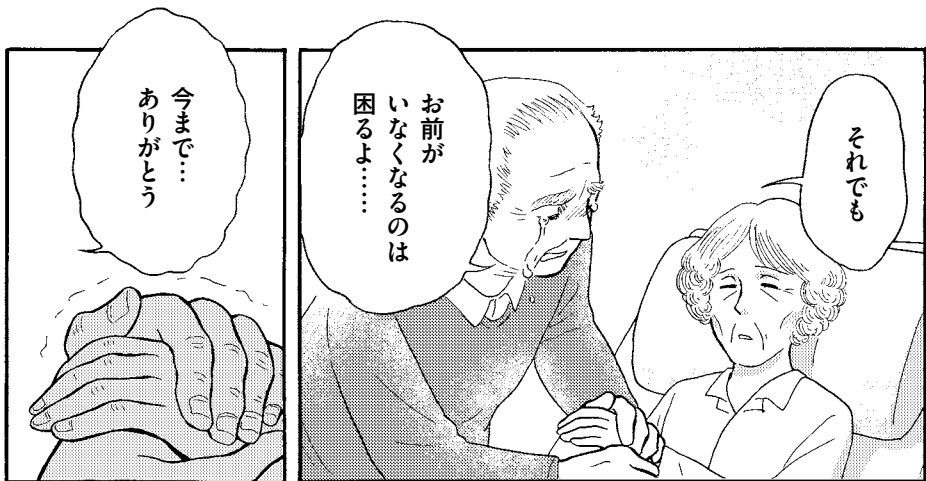
私たちは
二人で買い物にいき
一緒に料理をする
いつもの生活を
続けることができた

満たされた生活を
続けながらも

妻は体重が落ち
ベッド上での時間は
増えていった



そして
ついでに



それでも

お前が
いなくなるのは
困るよ……

今まで……
ありがとう



……



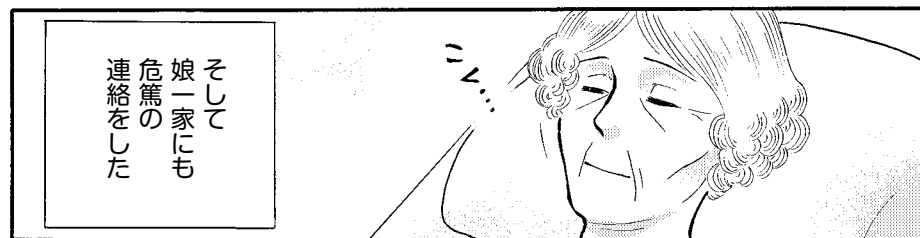
そつして
みんなに
見守られる中で

妻は息を
ひきとった

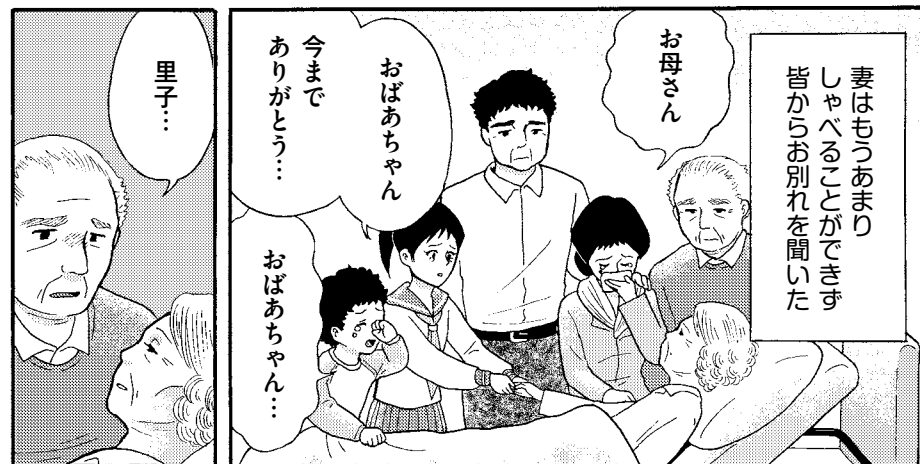


このまま
うちで
いいかい？
里子……

お別れの時が
近くなって
きました
病院でお世話になる
こともできますが……



そして
娘一家にも
危篤の
連絡をした



妻はもうあまの
しゃべることができず
皆からお別れを聞いた

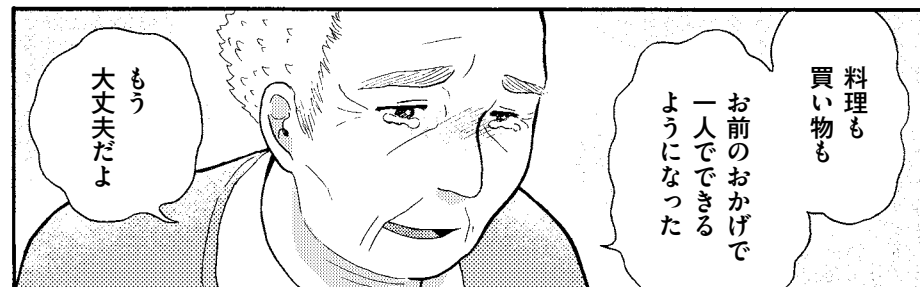
お母さん

おばあちゃん

今まで
ありがとう……

おばあちゃん……

里子……



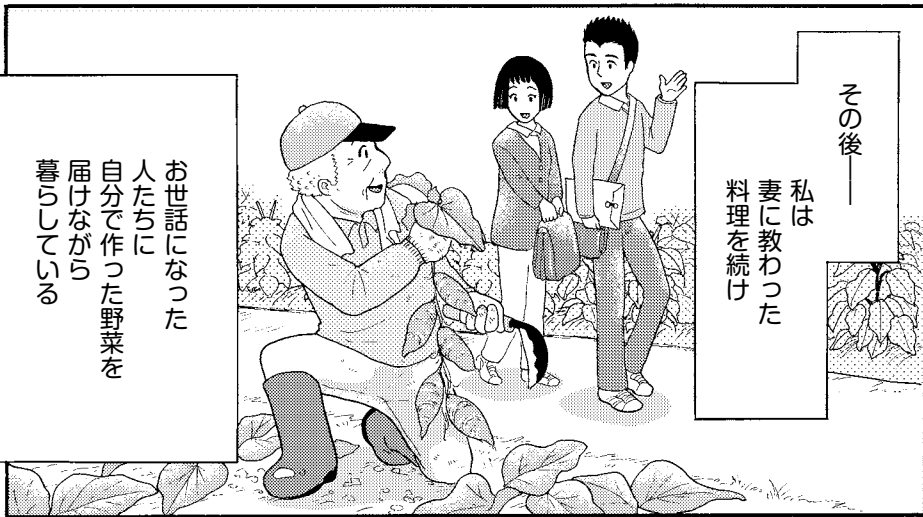
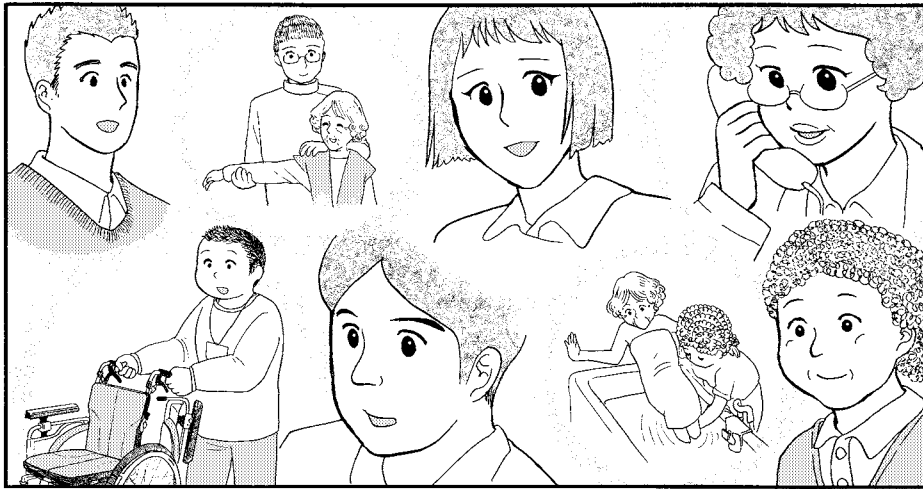
料理も
買い物も

お前のおかげで
一人でも
よくなった

もう
大丈夫だよ

最期まで
自分らしく
生きるために――

私たちが
応援し
支えてくれる
人たちがいる



お世話になった
人たちに
自分で作った野菜を
届けながら
暮らしている

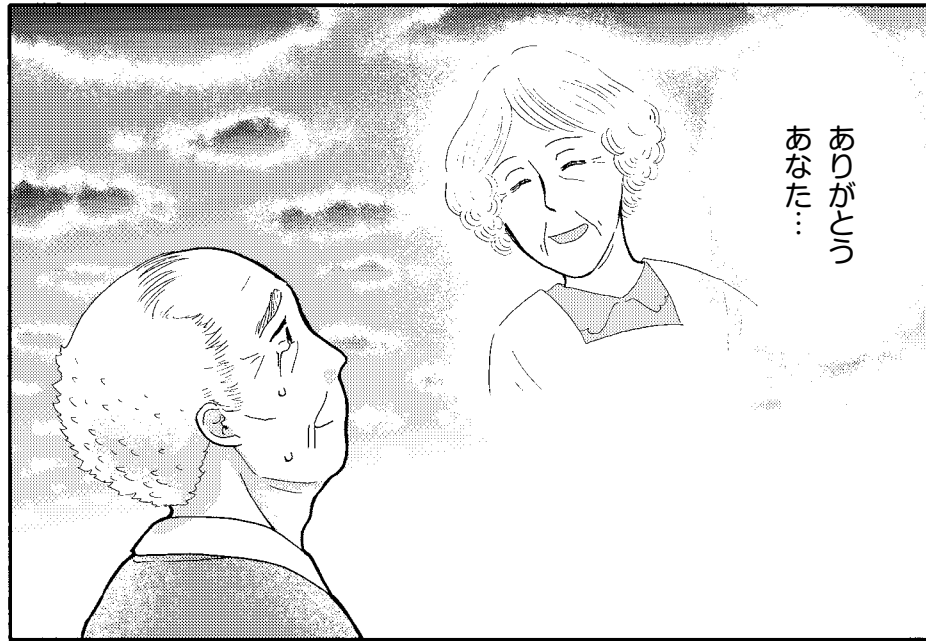
その後――
私は
妻に教わった
料理を続け



たくさん
「ありがとう」が
こぼれていた

メッセージノートには
妻の希望だけではなく
支えてくれた人々への

(伝えたいこと)
ちへ
正一さんへ
満子をこれからよろしくお
かわいい孫たちとさぞせて
中田さん 山岡さんへ
いつもありがとうございます
毎朝よくすごせまし
小林悦生へ
最期まで希望
ノート



ありがとう
あなた…

きっと
私一人の力では
やりとげられ
なかった

家族の
理解や援助

そして
多くの医療・介護
スタッフの人々の
支えがあつてこそ

その人々と
妻の最期の願いを
共有できていた
からこそだ

もしも、の時、あなたならどうしますか？

STEP1 考えてみましょう

質問1 もしも、あなたが口から食事を取ることが難しくなり、胃ろうなどの人工栄養法が必要だと言われた場合、どうしますか？

胃ろうって？

食べ物を飲み込むことができず、口から十分な食事が取れないとき、人工的に胃と皮膚の間の通路をつくり、この通路を通して栄養補給を行います。栄養補給法としては有効ですが、肺炎を引き起こすことも多く、医学的管理が必要のため、十分な説明を受けた上で実施される必要があります。



質問2 もしも、家族が突然倒れて意識がなくなり、救急搬送された病院で次のような質問をされた場合、あなたならどうしますか？



医師：今の医療での治療は困難です。人工呼吸器をつければ延命できるかもしれませんがどうしますか…？



人工呼吸器って？

自分で呼吸ができないときに、口や鼻からチューブを気管にいれ、肺へ人工的に酸素を送ります。

STEP2 信頼できる人、大切な人は誰か考えてみましょう

自分で考えや気持ちを伝えられなくなった時に、受ける医療やケアについてあなたの代わりに話し合っしてほしい人は誰ですか？

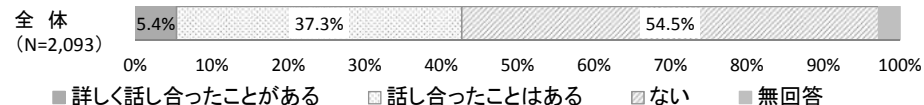
STEP3 あなたの主治医・かかりつけ医などに質問してみましょう

これからの治療やケアを考えるためには、自分の病気や治療方法をしっかりと知ることが大切です。まずは医師や日頃からあなたのことを知っている看護師などに尋ねてみましょう。

STEP4 治療やケアの考え方、希望について話し合しましょう

このような県民を対象とした調査結果があります。

問 あなたは受けたい医療や受けたくない医療について、家族と話し合ったことがありますか。



【保健医療に関する和歌山県民意識調査（平成29年度）】

もしも、の時に備え、話し合っておくことが大切です。

慢性の病気だけでなく、急な病気も誰にでも起こりうるものです。もしも、の時に備え、信頼できる人、大切な人と日頃から治療やケアの考え方、希望について話し合しましょう。

STEP5 話し合いを行い、その結果を伝えましょう

話し合った結果を伝え、書き留めておくことも大切です。まずは、次の項目について話し合いを行い、考え方や希望を書き留めてみましょう。

- 「現在の医療では治療の限界です」と医師から伝えられた場合に、どのような治療を望みますか？あなたの考え方に近いものと選んだ理由を考えてみましょう。
 - できる限りの延命治療
 - 心身の負担を伴う処置までは希望しないが、少しでも長く生きるための延命治療
 - 延命治療よりも苦痛の緩和やこれまでの暮らしを大切にしたい治療

その治療を選んだ理由を書いてみましょう。

- 自分の考えや気持ちを伝えられなくなった場合に、してほしい治療やケア、あるいはこれだけはしてほしいという治療やケアはありますか？
(例：できるだけ口から食べたい、人工的に管をつけたくない、など)

- 自分の考えや気持ちを伝えられなくなった場合に、治療やケアを受けたい場所はどこですか？

病院 自宅 その他（具体的な場所： ）

その場所を選んだ理由を書いてみましょう。

※人の考え方や希望は変わるものです、何回も繰り返して話し合っておくことが大切です。



【支えてくれるみなさんと連絡先】

【かかりつけ医療機関】

① 電話：.....

② 電話：.....

【かかりつけ薬局】

○ 電話：.....

【訪問看護ステーション】

○ 電話：.....

【その他の介護事業者】

① ケアマネジャー： 電話：.....

② ヘルパー： 電話：.....

さいごまで自分らしく

2018年2月 第1版 第1刷発行

●発行：和歌山県 福祉保健部 健康局 医務課 〒640-8585 和歌山県和歌山市小松原通1-1 TEL.073-441-2604 / FAX.073-424-0425

●作画：野路文紗子 ●編集：京都精華大学 事業推進室